

韓国の学校生活

日本では新学期といえば、どんなイメージが浮かびますか？桜が咲く暖かい春のイメージではないでしょうか。実は隣の国、韓国の新学期、日本の雰囲気とは全く違います。

韓国の新学期は3月から始まるということ、ご存知でしたか？卒業式は2月、入学式は3月2日に行うのが一般的です。韓国の3月頭はまだまだ寒い時期で、日本の暖かい入学式の印象とは全然違うかもしれません。今日はこうした韓国の新学期を記念して、私を感じた日韓の学校生活の違いについてご紹介します。



ヤジャって何？



写真：조선일보

韓国の高校の日課表を見ると、必ずヤジャと書かれているマスがあります。これは夜間自律学習(ヤガンジャユルハスプ)の略で、正規授業が終わった後、夜間に教室や別途設けられた空室を利用して自習する制度のことです。主に夕食を食べ終わった6時から集まって9-11時(学校によって異なる)まで行われます。現在、ヤジャを導入中の学校は全国の高等学校2,358ヶ所中1,900ヶ所です。夜間自習が導入されたきっかけは、1980年にあった教育改革措置で家庭教師・補習授業が

全面廃止され、これに代わるための方策として浮上したからです。

名称自体は「自律学習」ですが、数年前までは半強制的に参加させられることがほとんどでした。塾に行く場合を除けば、半強制的に皆学校に残って勉強をしなければならない場合が多く、家族の誕生日のような特別な日でないと、必ず夜間自習に参加しなければならない雰囲気でした。しかし、現在はソウルをはじめとする首都圏地域の場合、ほとんどの学校がヤジャを生徒の自律性に任せていますが、地方にある学校、特に嶺南圏や大田にある学校では未だに半強制的に実施する学校が残っています。



夕食も給食で食べるの？ ：お弁当の日本、給食の韓国



写真：더 나은 미래

ほとんどお弁当を作って通う日本とは違い、韓国の場合、小学校から高校まで全部給食を提供しています。上述のように、韓国の高校生はヤジャのため学校に遅い時間まで残っていることが多く、学校では昼食だけでなく夕食まで提供します。韓国の給食費は国が支援して無償で賄われます。そして、メニューは昼食より夕食の方がおいしいものが多い傾向があります。

韓国料理大好きユン交流員が好きだった 韓国の給食ランキング！



- ① **サムギョプサル** 今もユン交流員が一番好きな韓国料理。特に、私の学校はコチュジャンソースがとても美味しかったです！
- ② **カレーライス** バターが入っておらず、辛さが強いので、日本のカレーとは一味違う！
- ③ **ビビンバ** サムギョプサルと同じように出てくるコチュジャンソースにビビンバを混ぜて食べれば最高の味が！
- ④ **辛いカルビの蒸し物** 辛いもの、カルビ好きな私の大好物！

このメニューが出たら売店に行った！
ユン交流員が嫌だった韓国の給食ランキング！



- ① **キムチチャーハンをはじめとするチャーハン類** 大量にご飯を炒めるとご飯がトロトロになり、おいしくありませんでした。
- ② **韓国式の茶碗蒸し** うちの学校は茶碗蒸しに卵殻が入っている日が多かったです。不思議なことに、その茶碗蒸しは多くの学生の中で、私のもとに来ることが多かったです。
- ③ **牛肉大根スープ** 大根の食感が嫌だったJKユン交流員。しかも赤いスープじゃないと食べなかった時代だったので、牛肉大根スープは絶対に避ける！卒業後知った事実ですが、嶺南地域(釜山をはじめ慶尚南/北道地域)では赤く牛肉大根スープを作るそうです。



日韓制服の違い

韓国ドラマやバラエティーを見ていると、どこか日本とは違うと思いませんか？私が日本に来て一番驚いた点は、制服にローファーを履くことでした！このように、韓国と日本は同じく制服制度を導入していますが、制服の形と着方において少しの違いが存在します。



写真：OSEN

	日本	韓国
靴	ローファー	スニーカー
カバン	ショルダーバッグ	リュック
スカート	プリーツあり・Aラインスカート	プリーツなし・Hラインスカート
シャツ	ゆったり	ぴったり
コート	ゆったり	ぴったり